

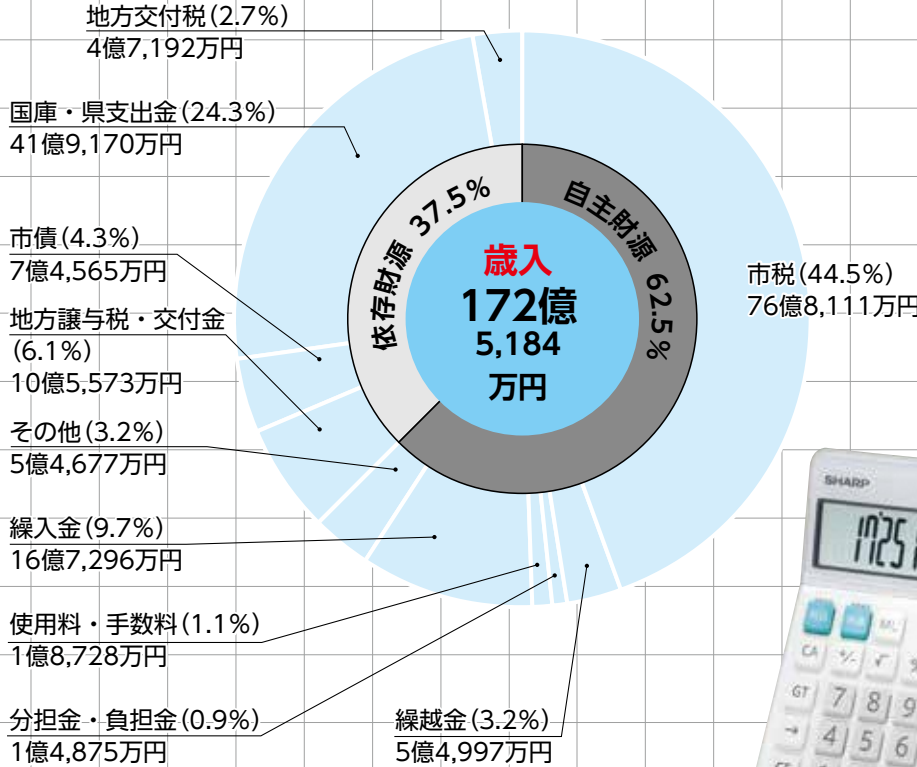
前年度よりも3億5,268万円増額

歳入 172億5,184万円

決算

平成30年度決算がまとまりました。
一般会計の歳入総額は172億5184万円、
歳出総額は167億848万円となりました。
財政の健全性を維持しています。

照会 財政課 ☎0537-851112



※表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

決算の概要

平成30年度における一般会計の歳入総額は172億5184万円、歳出総額は167億848万円となりました。市の総人口は3万2541人(3月31日時点)なので、市民1人当たり約50万円が使われたこととなります。

翌年度への繰越額財源である8056万円を除くと4億6280万円の実質赤字となっています。ただし、前年度からの繰越金が4億6423万円あることから、単年度の収支としては143万円の赤字ということになります。

昨年度は厳しい財政状態の中、効率的に事業を実施しました。財政状態も基準をクリアし、財政状況の健全化を示す健全化判断比率や資金不足比率は、各項目とも早期健全化基準を大幅に下回っており、財政の健全性を維持しています。

歳入

歳入は、前年度よりも3億5268万円増額となりました。

歳出

た。内訳は、税金などの自主財源が62.5割、国や県の補助金などに頼った依存財源が37.5割です。
自主財源のうち市税は、固定資産税の減収などにより、前年度と比べ1億764万円減額の76億8111万円となりました。依存財源の中で最も多い割合は国庫・県支出金で、歳入全体の24.3割を占めています。

歳出は、前年度よりも3億5929万円増額となりました。災害支援物資拠点施設や消防出張所の整備などにより、消防費が前年度より6億7836万円増額したことが主な要因です。

平成30年度の主要事業の決算額は、市内2小学校(浜岡東・御前崎)への太陽光パネル設置に8694万円、▼災害支援物資拠点施設整備に1億5553万円、▼消防出張所整備に2885万円、▼小中学校でのICT支援事業に426万円、▼スポーツ振興プロジェクト事業に1845万円となりました。